



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月12日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社
 （ブックオフコーポレーション株式会社） 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL https://www.bookoffgroup.co.jp/
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 堀内 康隆
 問合せ先責任者 （役職名） 経理部長 （氏名） 渡邊 憲博 TEL 042-750-8588
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	38,953	△0.7	549	—	897	430.3	441	—
2018年3月期第2四半期	39,211	△0.1	△67	—	169	—	△715	—

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 442百万円（－％） 2018年3月期第2四半期 △662百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	21.47	—
2018年3月期第2四半期	△34.83	—

（注）上記連結経営成績はブックオフコーポレーション株式会社の連結経営成績であります。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	41,069	13,545	32.6
2018年3月期	47,882	13,307	27.5

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 13,394百万円 2018年3月期 13,166百万円

（注）1. 上記連結財政状態はブックオフコーポレーション株式会社の連結財政状態であります。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）1. 2018年3月期期末の配当実績はブックオフコーポレーション株式会社の配当実績であります。

2. 2019年3月期期末の配当予想はブックオフグループホールディングス株式会社の配当予想であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	0.6	1,100	79.2	1,600	46.4	1,300	—	67.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）上記連結業績予想はブックオフグループホールディングス株式会社の2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	20,547,413株	2018年3月期	22,573,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	一株	2018年3月期	2,025,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	20,547,414株	2018年3月期2Q	20,547,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。このたび当社グループが2021年3月期に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定いたしました。この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げました。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げてまいります。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供をしていましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第2四半期連結累計期間にリユース店舗事業において各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加推進やBINGO渋谷モディ店の出店、マレーシアでの「Jalan Jalan Japan」3号店の出店他、ブックオフオンライン事業において物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」構想の第一歩としてブックオフオンラインとブックオフ店舗の会員ID統合とブックオフ公式アプリのリリースを実施しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高38,953百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益549百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）、経常利益897百万円（前年同四半期比430.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益441百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失715百万円）となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

(リユース店舗事業)

当セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、売上高34,841百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店2店舗、FC加盟店1店舗となりました（閉店はグループ直営店6店舗、FC加盟店14店舗）。

「BOOKOFF」既存店においてソフトメディア等の売上高が増加した他、前連結会計年度に実施した大型複合店舗の出店や、前連結会計年度に㈱マナス、BOK MARKETING SDN. BHD. を連結子会社化したこと等で増収となりました。

(ブックオフオンライン事業)

当セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、売上高3,615百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

ECサイトでの販売が好調に推移したこと、前連結会計年度にヤフーショッピング、アマゾン等販売チャネルの拡充を推進したことにより増収となりました。

(その他)

当セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、売上高495百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました（閉店はグループ直営店2店舗）。

なお、当社グループの売上高は前年同四半期比0.7%減となりましたが、前連結会計年度にハグオール事業で運営していた催事販売を撤退したことが主な要因です。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結会計期間末における資産・負債・純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は24,933百万円(前連結会計年度末は30,762百万円)となり、5,828百万円減少しました。新株予約権付社債を繰上償還したため現金及び預金が5,899百万円減少したこと等が主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は16,136百万円(前連結会計年度末は17,120百万円)となり、983百万円減少しました。有形固定資産が455百万円減少、無形固定資産が39百万円減少、投資その他の資産が488百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は27,524百万円(前連結会計年度末は34,574百万円)となり、7,049百万円減少しました。借入金が1,406百万円増加した一方で、新株予約権付社債を繰上償還したことで7,700百万円減少、法人税等の納付により未払法人税等が181百万円減少、買掛金が110百万円減少したこと等が主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は13,545百万円(前連結会計年度末は13,307百万円)となり、237百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、剰余金の配当を実施したこと等が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ブックオフコーポレーション株式会社が2018年5月10日に公表しました2019年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、2018年11月12日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,860,355	7,960,710
受取手形及び売掛金	1,488,764	1,382,625
商品	12,949,201	12,788,496
その他	2,465,649	2,803,202
貸倒引当金	△1,761	△1,239
流動資産合計	30,762,210	24,933,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,030,287	3,730,453
リース資産(純額)	1,587,494	1,419,382
その他(純額)	893,256	905,613
有形固定資産合計	6,511,038	6,055,450
無形固定資産		
のれん	138,218	112,484
その他	1,165,461	1,151,556
無形固定資産合計	1,303,680	1,264,040
投資その他の資産		
差入保証金	7,940,492	7,571,951
その他	1,439,330	1,321,858
貸倒引当金	△74,458	△77,193
投資その他の資産合計	9,305,364	8,816,616
固定資産合計	17,120,082	16,136,107
資産合計	47,882,293	41,069,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	452,354	342,086
短期借入金	5,386,680	7,800,000
1年内返済予定の長期借入金	4,966,884	4,188,054
1年内償還予定の新株予約権付社債	7,700,000	—
リース債務	388,181	347,451
未払法人税等	666,342	484,808
賞与引当金	298,246	320,534
売上割戻引当金	680,369	618,484
株主優待引当金	90,683	46,845
店舗等閉鎖損失引当金	55,389	36,547
災害損失引当金	—	13,251
その他	4,065,439	3,920,596
流動負債合計	24,750,570	18,118,660
固定負債		
長期借入金	6,268,059	6,039,709
店舗等閉鎖損失引当金	35,087	38,438
資産除去債務	1,785,050	1,759,760
リース債務	1,306,364	1,168,422
その他	429,428	399,803
固定負債合計	9,823,989	9,406,133
負債合計	34,574,559	27,524,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,652,394	3,652,394
資本剰余金	4,192,922	3,846,183
利益剰余金	6,605,076	5,931,860
自己株式	△1,255,575	—
株主資本合計	13,194,817	13,430,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,345	91,716
為替換算調整勘定	△110,021	△127,209
その他の包括利益累計額合計	△28,676	△35,492
非支配株主持分	141,592	150,165
純資産合計	13,307,733	13,545,110
負債純資産合計	47,882,293	41,069,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	39,211,627	38,953,555
売上原価	16,169,734	15,771,021
売上総利益	23,041,892	23,182,534
販売費及び一般管理費	23,109,808	22,633,187
営業利益又は営業損失(△)	△67,916	549,347
営業外収益		
設備賃貸収入	8,717	139,650
自動販売機等設置料収入	71,301	67,644
古紙等リサイクル収入	189,041	182,760
その他	86,725	190,300
営業外収益合計	355,786	580,355
営業外費用		
支払利息	88,281	78,563
持分法による投資損失	1,281	87
設備賃貸原価	2,429	129,413
その他	26,718	24,636
営業外費用合計	118,710	232,701
経常利益	169,159	897,001
特別利益		
固定資産売却益	—	61,069
負ののれん発生益	20,476	—
店舗譲渡益	—	26,129
特別利益合計	20,476	87,198
特別損失		
投資有価証券評価損	1,322	—
店舗等閉鎖損失	—	22,202
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	18,418	32,012
固定資産除却損	5,263	11,955
減損損失	509,467	33,110
災害による損失	—	3,192
災害損失引当金繰入額	—	13,251
特別損失合計	534,471	115,724
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△344,834	868,475
法人税、住民税及び事業税	221,110	295,778
法人税等調整額	139,979	122,266
法人税等合計	361,089	418,045
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△705,924	450,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,649	9,334
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△715,574	441,095

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△705,924	450,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,596	△7,939
為替換算調整勘定	9,335	△17,890
持分法適用会社に対する持分相当額	75	18,251
その他の包括利益合計	43,007	△7,577
四半期包括利益	△662,917	442,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△672,490	434,278
非支配株主に係る四半期包括利益	9,572	8,573

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年8月21日開催の取締役会決議に基づき、2018年9月28日付で自己株式2,025,787株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が346,738千円、利益剰余金が908,838千円、自己株式が1,255,577千円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,345,034	3,031,791	1,186,506	38,563,332	648,295	39,211,627	—	39,211,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,772	645,135	193,001	855,908	179,623	1,035,531	△1,035,531	—
計	34,362,806	3,676,926	1,379,507	39,419,240	827,918	40,247,158	△1,035,531	39,211,627
セグメント利益又は 損失(△)	1,488,585	120,443	△617,162	991,866	△74,786	917,079	△984,995	△67,916

(注) 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	991,866
「その他」区分の利益	△74,786
セグメント間取引消去	54,883
全社費用(注)	△1,039,878
四半期連結損益計算書の営業損失	△67,916

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース店舗事業」、「ブックオフオンライン事業」及び「ハグオール事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては509,467千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「リユース店舗事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、32,465千円であります。

「ブックオフオンライン事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、78,100千円であります。

「ハグオール事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、392,888千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)
第1四半期連結累計期間において、「リユース店舗事業」セグメントで(株)マナスを取得したことにより、負ののれん発生益を20,476千円計上いたしました。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,841,849	3,615,948	38,457,798	495,756	38,953,555	-	38,953,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,932	982,207	1,023,140	198,812	1,221,953	△1,221,953	-
計	34,882,782	4,598,156	39,480,939	694,569	40,175,508	△1,221,953	38,953,555
セグメント利益又は 損失(△)	1,671,353	13,456	1,684,809	△34,582	1,650,226	△1,100,879	549,347

(注) 1. 前連結会計年度において「ハグオール事業」セグメントを廃止したことにより、報告セグメントから除外しております。

2. 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,684,809
「その他」区分の利益	△34,582
セグメント間取引消去	31,151
全社費用(注)	△1,132,031
四半期連結損益計算書の営業利益	549,347

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース店舗事業」及び「ブックオフオンライン事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては33,110千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「リユース店舗事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、27,411千円であります。

「ブックオフオンライン事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5,699千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。